

教材 3

そのページ, 確認しなくて大丈夫?

シナリオ・スライド

<p>導入編</p>		<p>[ストーリー1・女の子] 小学校6年生のあかねさん。無料占いウェブサイト、名前やメールアドレス、生年月日等の個人情報を入力したところ…</p>
		<p>変なメールがたくさん来るようになってしまいました。</p>
		<p>[ストーリー2・男の子] 小学校6年生のしょうたさん。「アプリに許可する権限」をよく確認せずにインストールしたため、自分の知らない間に、個人情報を提供してしまいました。また、スマートフォンとの通信を許可してしまい、情報を読み取られたり、アプリの優先順位を変えられたりしたため、請求画面が表示されるようになりました。</p>
<p>解説編</p>		<p>インターネットには、いろいろなウェブサイトがあります。楽しい情報が載った便利なウェブサイトがある反面、悪質なウェブサイトもあります。このようなウェブサイトを見分けることはとても難しいですが、悪質なウェブサイトにはかからないようにすることで被害を軽減することができます。</p>
		<p>個人情報を入力するときには、その情報がどのように使われるのかを確認しましょう。企業のウェブサイトには、個人情報についてまとめたプライバシーポリシーのページがあるはずです。画面のようなマークを確かめ、その内容を必ず読んで確認するようにしましょう。</p>
		<p>また、利用規約も確認するようにしましょう。利用規約の例では、「当社は、登録会員へ通知することなく、本サービスの広告、宣伝を目的として、登録されたデータ等の全部又は一部を無償で自由に利用できる」となっています。これは、あなたが登録時に提供した、住所や性別、年齢、実メールアドレスを会社が自由に使うことができる、ということです。さらに、「登録会員は当社に対して著作権者人格権を行使しないことに同意する」とあり、あなたが書きこんだ内容や写真、イラスト等のあなたの著作物を会社側が自由に利用することを認めたこととなります。</p>
		<p>アプリをインストールする場合、アプリと直接関係ない権限項目にチェックがあるときは、インストールしないようにしましょう。よくわからない場合は必ず大人に相談しましょう。気を付けていても、悪質なウェブサイトにつながってしまう可能性もあります。そこで、フィルタリングというサービスを活用することも有効です。フィルタリングは特定のウェブサイトにはアクセスできないようにする仕組みです。</p>
		<p>無料には、企業側の目的がいろいろあります。「宣伝のため」「個人情報を集めるため」「物売るため」「通常は無料だけど一部有料のもの」。無料だからといって飛びつかず、なぜそれが無料なのかをよく考えて利用しましょう。</p>
		<p>どのウェブサイトを見るのか、サービスを利用するのか、情報をきちんと見て、よく考えて判断をするようにしましょう。自分自身で判断できない場合は、保護者や教員に相談して、安全にインターネットを利用するよう心掛けましょう。</p>